

# 長いもの輸出

- ・ 野菜の中で北海道における輸出額が最大
- ・ 苫小牧港が輸出額・輸出量ともに全国第1位
- ・ 北海道、青森県が日本最大の生産地

## はじめに

2013年、「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて以降、海外における日本食レストランの数が大きく増加<sup>※1</sup>するなど、近年、日本食への関心が高まっています。

和の食材の輸出に目を向けると、同2013年、農林水産省において、日本の農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」<sup>※2</sup>が策定され、日本「食」の輸出を2020年までに1兆円とする目標が掲げられました。また、2025年に策定された「食料・農業・農村基本計画」<sup>※3</sup>においては、2030年には農林水産物・食品の輸出額を5兆円とする目標が設定されています。こうした中、農林水産物・食品の輸出は拡大を続け、2025年の輸出額は1兆7,005億円を記録し、13年連続で過去最高を更新しています。

※4

農林水産物・食品には、農産物（畜産品、果樹・野菜、穀物等）、林産物、水産品が含まれていますが、今回は、上記基本計画において輸出重点品目に指定された野菜の中で、北海道における輸出額が最も大きく<sup>※5</sup>、苫小牧港が輸出額・輸出量ともに全国第1位であるほか、北海道、青森県が日本最大の生産地である「長いもの」の輸出について特集いたします。

（参考）長いものとは<sup>※6</sup>

ヤマノイモ科の芋は広く食用されており、日本では「自然薯」、「山芋」、「大薯」の3種類が出回り、栽培品種の主流となっているのは「山芋」とのことです。山芋は形によって分けられ、「ながいも群」が最も多く生産されているとのこと。なお、ヤマノイモ科の学名は「Dioscoreaceae」とされています。（『ブリタニカ国際大百科事典』より）

本特集「長いもの輸出」は、以下の統計品目番号について調査し、比較可能な2012年以降の貿易統計データを集約したものといたします。

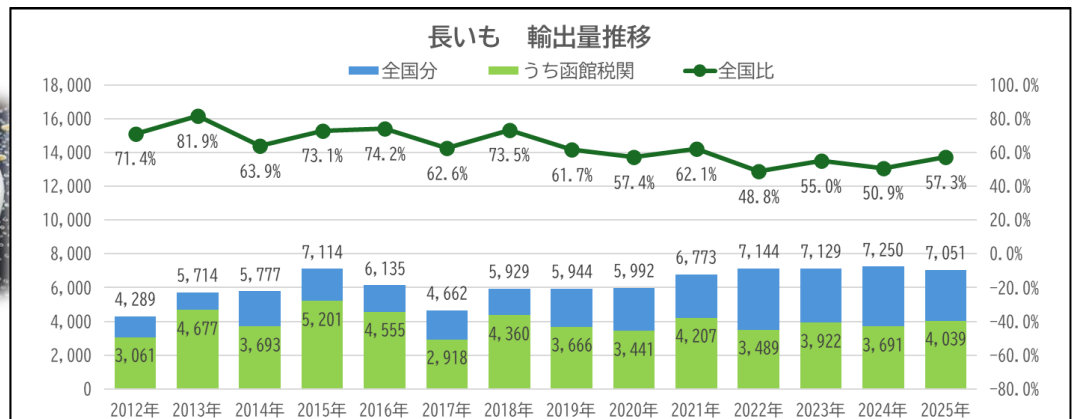
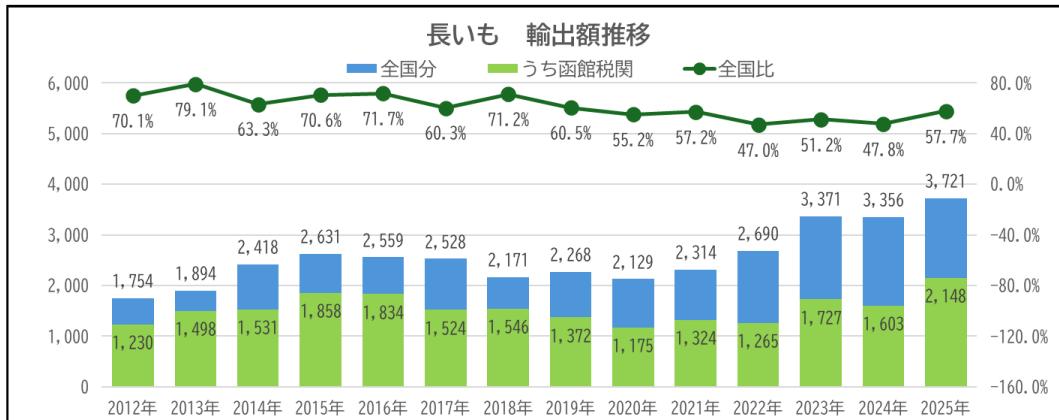
輸出統計品目番号：0714.30-000

ヤマ芋（Dioscorea種）（生鮮、冷蔵、冷凍、乾燥したものに限り、切ってあるか・ペレット状かは問わない）

## 輸出動向

まずは、輸出額・輸出量の推移を見ていきたいと思います。

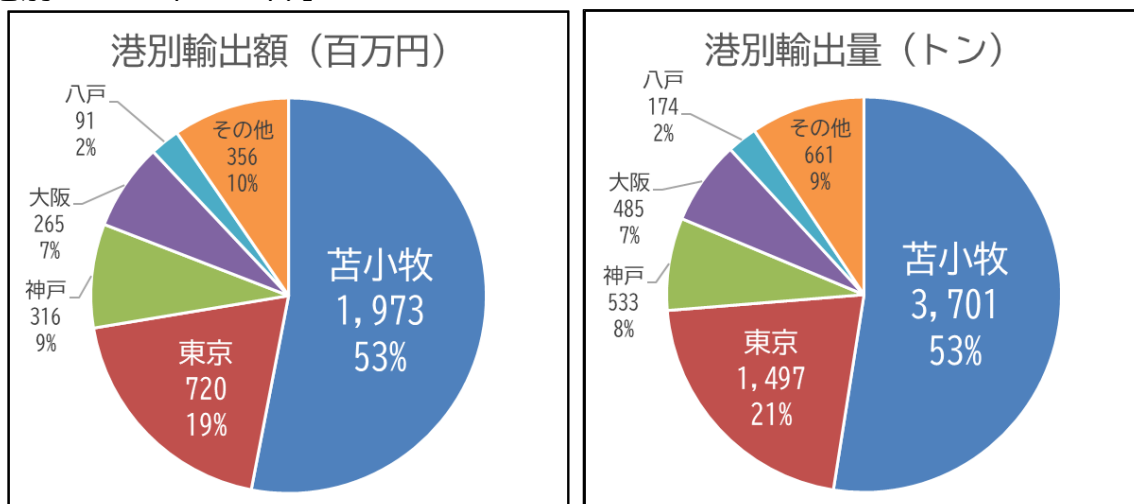
各年の貿易統計データについて、統計品目番号上比較可能な 2012 年以降となりますが、2019 年まで函館税関は輸出額・輸出量ともに全国平均で約 6 割以上でしたが、徐々に関東圏や関西圏からの輸出も増えてきたことにより、近年は約 5 割前後で推移しています。



次に、税関別・港別を見ていきます。

前述のとおり、函館税関は同期間通して全国ベースで約 5 割以上を維持していますが、2025 年の貿易統計データを見ると、苫小牧港が輸出額・輸出量ともに全国第 1 位となっております。なお、別紙「長いもに係る各種貿易統計」2. 税関別・港別に掲載しましたとおり、苫小牧港は、輸出額・輸出量ともに 14 年連続全国第 1 位となっております。

### 【港別シェア (2025 年)】

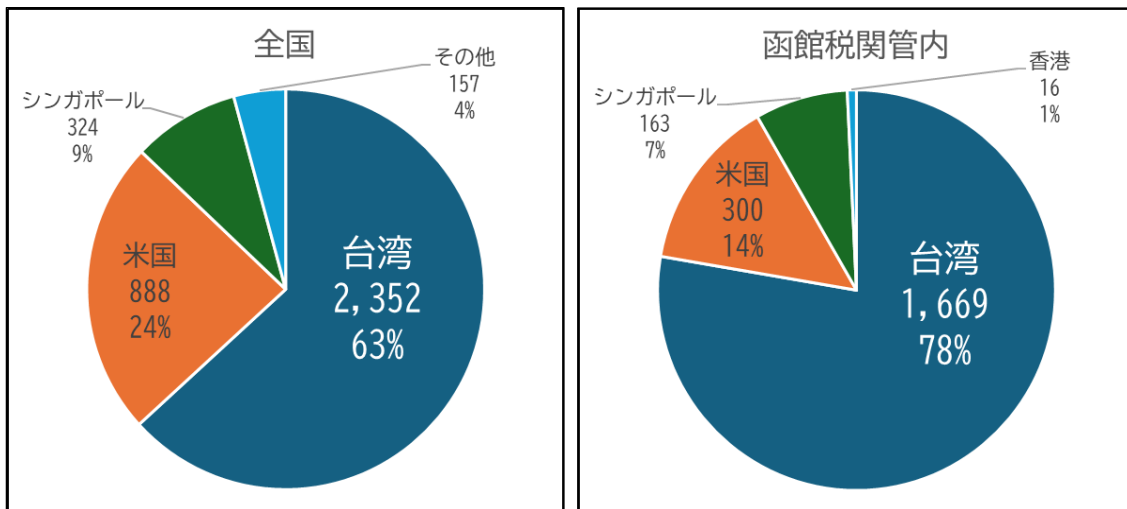


輸出相手国・地域についても見ていきましょう。

2025 年の貿易統計データを見ると、全国及び函館税関ともに、輸出先の大宗は台湾であり、米国、シンガポールなどが続きますが、全体としては、アジア圏が中心となっております。輸出先において長いもがどのように認識されているかに関して、北海道農政事務所によると、「長いもは、海外で健康食品として認知され、健康志向の強い海外の富裕層を中心に人気が高ま」っているとのことです。<sup>※7</sup>

なお、台湾では、長いもは「山薬（シャンヤオ）」といわれ、滋養強壮に効果がある健康食品として珍重され、薬膳料理のスープやチキンスープなどの具材として消費されている<sup>※8</sup>ほか、長いもと牛乳、砂糖などをミキサーにかけた「長いもジュース」も人気があるそうです。<sup>※9</sup> また、アメリカでは、特に西海岸で薬膳料理の具材やジュースとして人気があるとのことです。<sup>※8</sup>

【仕向国別輸出額シェア（2025 年）】※金額単位：百万円

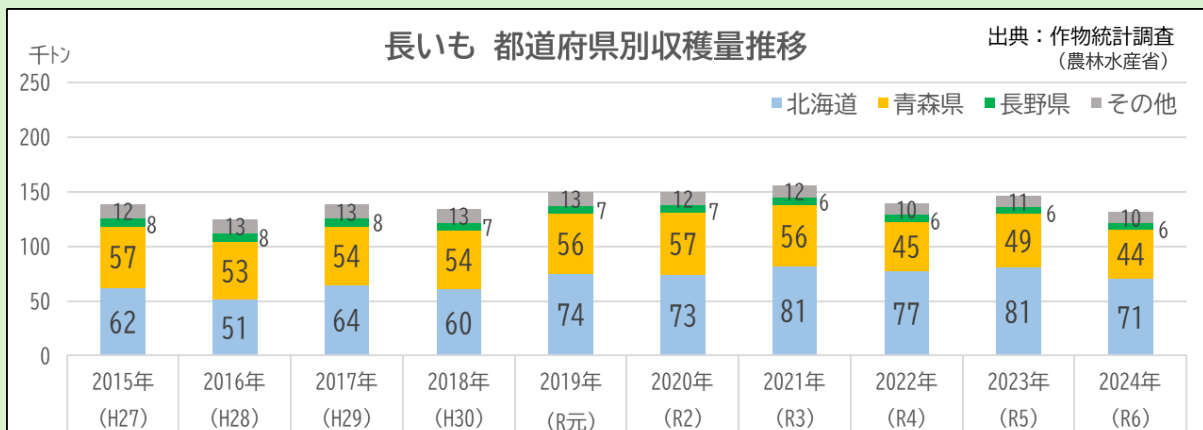


### 北上するほど良く育つ？ ～生産量に見る輸出～

長いもの日本最大の生産地って、実は北海道ってご存じでしょうか？

「作物統計調査」（農林水産省）によりますと、従前より北海道と青森県での生産が多く、なんとこの2道県で日本全体の8割以上を生産しています。3位以下の上位10都道府県には、その他の函館税関管轄（岩手県・秋田県）もランクインしています。

肥沃な土壌、昼夜の寒暖差などが、品質の高い長いもの生産に大きなメリットとなっているようです。



## あとがき

以前、函館税関で特集した「食の輸出」でも取り上げましたように、ユネスコ世界無形文化遺産に「和食」が登録されてから10年以上が経ち、海外での需要に応じ、和の食材の輸出も増加してきております。

こうした輸出拡大の背景には、輸出促進に取り組む生産者、企業、官公庁、政府系機関など、様々な方々の多大なご尽力があつてのことだと感じています。輸出促進に加え、訪日外国人観光客による食関連消費の拡大も重要な位置付けとされています。日本国内にも言えることですが、消費につながる「ファン」を地道に増やすことも重要な施策の一つなのでしょう。

今回特集した長いものは、海外では健康食品として注目されており、また、加熱しなくても生で安全に食べられる貴重な「いも類」でもあります。海外の活用レシピもたくさんありますので、薬膳や夏バテによいとされるジュースなど、和食とは一味違う料理を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 【出典・参考資料】

※1 農林水産省「海外における日本食レストラン数の調査結果(令和7年)の公表について」

[https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu\\_kokusai/kaitaku/251128.html](https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kaitaku/251128.html)

※2 農林水産省「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」 [https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\\_kikaku/pdf/01.pdf](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_kikaku/pdf/01.pdf)

※3 農林水産省「食料・農業・農村基本計画」 [https://www.maff.go.jp/j/keikaku/k\\_aratana/index.html](https://www.maff.go.jp/j/keikaku/k_aratana/index.html)

※4 農林水産省「2025年の農林水産物・食品の輸出実績」について [https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu\\_kokusai/kikaku/260203.html](https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/260203.html)

※5 農林水産省「北海道(道内港分)における 農林水産物・食品の輸出額 (2025年)」

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/suisin/keiei/shokusan/yusyutsu/attach/pdf/top-114.pdf>

※6 独立行政法人農畜産業振興機構「今月のやさい:やまのいも」 [https://www.alic.go.jp/koho/kikaku03\\_001616.html](https://www.alic.go.jp/koho/kikaku03_001616.html)

※7 北海道農政事務所「【十勝】長いもの収穫」 [https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/douga/zentai/20211101\\_nagaimo.html](https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/douga/zentai/20211101_nagaimo.html)

※8 日本貿易振興機構「輸出品目別レポート(ながいも)」 [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/industry/foods/item/38.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/industry/foods/item/38.pdf)

※9 農林水産省資料 [https://www.maff.go.jp/j/study/yasai\\_kentou/04/pdf/data2-2.pdf](https://www.maff.go.jp/j/study/yasai_kentou/04/pdf/data2-2.pdf)

### 【本資料に関する問い合わせ】

函館税関 調査部 調査統計課

〒040-8561 北海道函館市海岸町 24-4 函館港湾合同庁舎 3階

TEL : 0138-40-4281 (直通)

函館税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/hakodate/>

**※本資料の貿易統計データを引用する場合は「財務省貿易統計」の旨注記願います。**

## 長いものに係る各種貿易統計

## 1. 輸出推移

年	全国分		うち函館税関		うち北海道		全国比-管内		全国比-北海道		管内比	
	数量(kg)	価額(千円)	数量(kg)	価額(千円)	数量(kg)	価額(千円)	数量	価額	数量	価額	数量	価額
2012年	4,289,437	1,753,640	3,060,669	1,229,629	2,991,349	1,199,000	71.4%	70.1%	69.7%	68.4%	97.7%	97.5%
2013年	5,713,540	1,893,867	4,677,443	1,498,383	4,677,443	1,498,383	81.9%	79.1%	81.9%	79.1%	100.0%	100.0%
2014年	5,777,384	2,418,067	3,692,528	1,530,916	3,649,878	1,510,683	63.9%	63.3%	63.2%	62.5%	98.8%	98.7%
2015年	7,113,646	2,630,714	5,201,212	1,857,718	5,186,462	1,852,205	73.1%	70.6%	72.9%	70.4%	99.7%	99.7%
2016年	6,135,222	2,559,448	4,555,223	1,834,119	4,555,223	1,834,119	74.2%	71.7%	74.2%	71.7%	100.0%	100.0%
2017年	4,662,470	2,528,348	2,917,793	1,524,145	2,917,793	1,524,145	62.6%	60.3%	62.6%	60.3%	100.0%	100.0%
2018年	5,928,661	2,171,158	4,359,910	1,545,601	4,352,410	1,542,304	73.5%	71.2%	73.4%	71.0%	99.8%	99.8%
2019年	5,943,967	2,267,880	3,666,498	1,371,548	3,525,438	1,316,149	61.7%	60.5%	59.3%	58.0%	96.2%	96.0%
2020年	5,992,383	2,128,632	3,441,158	1,175,268	3,332,758	1,132,184	57.4%	55.2%	55.6%	53.2%	96.8%	96.3%
2021年	6,772,848	2,313,602	4,206,662	1,324,373	4,129,662	1,297,120	62.1%	57.2%	61.0%	56.1%	98.2%	97.9%
2022年	7,143,829	2,690,157	3,488,532	1,265,337	3,425,472	1,244,681	48.8%	47.0%	48.0%	46.3%	98.2%	98.4%
2023年	7,129,245	3,371,011	3,921,511	1,727,368	3,882,551	1,704,740	55.0%	51.2%	54.5%	50.6%	99.0%	98.7%
2024年	7,250,337	3,355,823	3,691,129	1,602,685	3,646,529	1,582,859	50.9%	47.8%	50.3%	47.2%	98.8%	98.8%
2025年	7,050,689	3,721,361	4,038,690	2,147,610	3,864,820	2,056,952	57.3%	57.7%	54.8%	55.3%	95.7%	95.8%



### 3. 仕向国別

#### (1)全国分

国・地域	2015年		2020年		2025年	
	数量(kg)	価額(千円)	数量(kg)	価額(千円)	数量(kg)	価額(千円)
総計	7,113,646	2,630,714	5,992,383	2,128,632	7,050,689	3,721,361
台湾	3,419,340	1,280,466	2,688,557	932,938	4,373,340	2,352,133
アメリカ合衆国	3,150,132	1,123,147	2,324,702	814,422	1,829,791	888,089
シンガポール	519,864	215,621	668,582	253,092	578,246	324,115
香港	2,810	1,199	216,512	88,555	226,013	128,028
マレーシア	10,430	4,186	7,740	3,676	25,159	16,313
タイ	8,020	3,920	11,650	5,047	14,310	9,206
オランダ	-	-	16,170	3,204	2,250	1,767
ドイツ	650	416	300	227	1,000	878
オーストラリア	-	-	200	252	580	832
カナダ	-	-	57,550	26,940	-	-
カンボジア	-	-	420	279	-	-
インドネシア	1,300	1,097	-	-	-	-
英国	1,100	662	-	-	-	-

#### (2)函館税関管内

国・地域	2015年		2020年		2025年	
	数量(kg)	価額(千円)	数量(kg)	価額(千円)	数量(kg)	価額(千円)
総計	5,201,212	1,857,718	3,441,158	1,175,268	4,038,690	2,147,610
台湾	2,573,920	926,135	1,702,706	576,876	3,140,992	1,668,921
アメリカ合衆国	2,143,542	733,089	1,228,522	416,774	563,068	300,196
シンガポール	479,250	196,362	474,620	169,346	306,130	162,516
香港	500	207	3,300	1,325	28,500	15,977
カナダ	-	-	15,840	7,743	-	-
オランダ	-	-	16,170	3,204	-	-
タイ	4,000	1,925	-	-	-	-

参考：生産量推移

単位：トン

年度	全国分	第1位（全国比）		第2位（全国比）		第3位（全国比）	
2007年（H19）	158,700	青森県	71,800（45.2%）	北海道	65,200（41.1%）	長野県	9,570（6.0%）
2008年（H20）	150,100	青森県	66,500（44.3%）	北海道	62,500（41.6%）	長野県	9,580（6.4%）
2009年（H21）	138,000	青森県	59,500（43.1%）	北海道	59,200（42.9%）	長野県	8,650（6.3%）
2010年（H22）	145,200	北海道	67,700（46.6%）	青森県	58,600（40.4%）	長野県	8,370（5.8%）
2011年（H23）	137,000	青森県	60,000（43.8%）	北海道	59,000（43.1%）	長野県	7,890（5.8%）
2012年（H24）	138,900	北海道	62,500（45.0%）	青森県	58,500（42.1%）	長野県	7,870（5.7%）
2013年（H25）	136,500	青森県	59,000（43.2%）	北海道	57,600（42.2%）	長野県	7,860（5.8%）
2014年（H26）	141,400	北海道	61,800（43.7%）	青森県	59,100（41.8%）	長野県	8,180（5.8%）
2015年（H27）	138,200	北海道	61,700（44.6%）	青森県	56,500（40.9%）	長野県	7,530（5.4%）
2016年（H28）	124,700	青森県	52,900（42.4%）	北海道	50,900（40.8%）	長野県	8,000（6.4%）
2017年（H29）	138,300	北海道	64,000（46.3%）	青森県	53,800（38.9%）	長野県	7,580（5.5%）
2018年（H30）	134,400	北海道	60,400（44.9%）	青森県	54,000（40.2%）	長野県	7,100（5.3%）
2019年（R元）	149,700	北海道	74,400（49.7%）	青森県	55,800（37.3%）	長野県	6,730（4.5%）
2020年（R2）	149,500	北海道	73,400（49.1%）	青森県	57,300（38.3%）	長野県	6,620（4.4%）
2021年（R3）	156,200	北海道	81,400（52.1%）	青森県	56,400（36.1%）	長野県	6,480（4.1%）
2022年（R4）	139,400	北海道	77,200（55.4%）	青森県	45,300（32.5%）	長野県	6,440（4.6%）
2023年（R5）	146,600	北海道	80,600（55.0%）	青森県	49,000（33.4%）	長野県	6,340（4.3%）
2024年（R6）	131,700	北海道	70,700（53.7%）	青森県	44,100（33.5%）	長野県	6,430（4.9%）

※参考：作物統計調査  
（農林水産省）